

政治学概論 II

(1) 政治の役割とは

ルールを作り守るのが政治の役割

- 人間が幸福であるために（不幸でないために）必要なもの
=自由と安全のための諸権利、生活のための資金・・・
異なる価値観を調整するためにはルール（法、決まり）が必要
 - 政治は最大公約数を探りながら、ルールを決定する
必要に応じて変更する ⇒ 変化に応じて新しいルールを作る
- ※国民の権利は公共の福祉に反しない限りにおいて最大限の尊重
(日本国憲法 第十三条)
- ※健康で文化的な最低限度の生活を営む権利 (第二十五条)

代議制民主主義の意味

政治的正義（人権＝自由と安全）の実現 ⇔ 利害の調整
すべての人が話し合ってルールを決める（直接制民主主義）
⇒ 一定以上の人口では、物理的に不可能

代表者を選んで、彼らがルールを決める（議会、政府）
「選挙」というシステム 代表たる政治のプロ（政党）
三権分立（立法・行政・司法）でチェック＆バランス
選挙による政権の交代で、権力の固定化、腐敗を防ぐ

多数決と少数者の尊重

- 政治の本質 = 正義の実現（理想）と利害の調整（現実）の攻防
代表を選ぶ・ルールを決める = 最終的に多数決（民主主義）
- 多数決でも間違える = 民主主義は結果の正しさを保証しない
少数意見にも常に配慮しつつ決定する必要 = 議論・対話の重視
- 現在の少数派が未来の多数派となる可能性
ある時代の現実「常識」が、未来もずっと通用するとは限らない
一方、理想を他者に押し付ける危険にも注意

政治の困難さ

- 選ばれた代表 = 職業政治家の条件とは何か
聰明である、誠実である、タフである = どれが最も重要?
M.ウェーバー 「現実にくじけない人間だけが政治を天職に」

- 政治的対立 = 選挙で多数派を争うのが政治
争いは感情的な対立を増幅し、社会の分断を招く場合も
「民主主義とは、頭をかち割る代わりに頭数を数える制度」
(W.チャーチル) 暴力を避けるのも民主主義の要諦
情熱と冷静、そして妥協という困難な隘路をゆく政治

想像力と説得力

■ 「自分の嫌いなものを、好きであるかのように想定すること」
(丸山真男)

■ 「僕の嫌いな「彼」も彼なりの理由があると思うんだ」
(Fukase)

自己主張だけでなく、相手の主張との違いを理解したうえで
相手を説得できるか？ 違いの中から調和点・妥協点を探す作業

自分の嫌いな意見、好まない意見も「なぜ？」を考える必要
SNS時代の難しさ（エコーチェンバー・フィルターバブル）